ジャーナル第２２号の発刊にあたり

職業能力開発大学校の設置目的は、産業の基盤となる高度な「ものづくり」を支える人材（学生）を育成することです。

最近の産業界では、技術革新の進展や産業構造の変化が激しくなっているため職業能力開発大学校では、「ものづくり」現場に応じた理論・技能・技術に対応できる実践技術者を育成しています。

近畿職業力開発大学校では、平成２６年４月から応用課程（大学校３・４年）に生産システム技術系「生産電気システム技術科」及び「生産電子情報システム技術科」が新科としてスタートしました。さらに専門課程に居住・建築システム技術系「住居環境科」も新科としてスタートして、専門課程（大学校1・２年）から応用課程が一環した能力開発システム教育訓練が体系的に整備されました。

本ジャーナルは、近畿職業能力開発大学校において、平成２５年度に取り組んだ研究報告・教材開発・実践報告や、特集として応用課程に新科として設置された「生産電気システム技術科」に導入された設備・機器の紹介をまとめたものです。

本ジャーナルが皆様方のご参考になれば幸いです。また、校外からのご意見を聴かせて頂き今後の業務展開につなげ、本大学校の使命である「ひとづくり」「ものづくり」の発展につながるように努めてまいります。

平成２６年１１月
平成２６年度紀要編集委員会